

平成30年度 日向市立財光寺南小学校 学校評価

評価段階 A とてもよい B だいたいよい C もう少しである D あまりよくない

	重点目標	自己評価					平均	学校関係者評価委員の御意見と評価	総合評価													
		対象	A	B	C	D																
確かな学び	1 分かりやすい授業に向けた手立ての工夫	児童	55.3	32.7	9.2	2.8	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の経験によって、分かりやすさに差があるように感じた。 ・家庭と協力し、家庭学習の時間を確保していくための取り組みの工夫が今後も必要と思う。 ・児童の自発性が大事なことである。 ・個別に応じた指導に今後も取り組んで欲しい。 	3.4	3.4												
		保護者	48.2	46.1	4.5	1.2																
		職員	35.3	58.8	5.9	0.0																
	2 望ましい学習習慣の定着に向けた手立ての工夫【教師、保護者】と実際の取組【児童】	児童	32.9	44.5	17.6	5.0					3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の満足感と児童や教師のそれとの差を解消していく必要がある。 ・C、Dの児童を引き上げて行くような取り組みに努めて欲しい。 ・家庭での指導も必要だと思う。 ・今後も、児童に応じた先生方の工夫と家庭の協力が必要だと思う。 	3.4	3.4								
		保護者	52.4	43.0	3.6	0.9																
		職員	23.5	76.5	0.0	0.0																
	3 家庭学習の習慣化に向けた手立ての工夫【教師、保護者】と実際の取組【児童】	児童	65.2	20.0	10.1	4.8									3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・2と同じで、先生方の工夫や家庭の協力が必要だと思う。 ・教師の経験によって、手立ての工夫に差があるように感じる。 ・家庭学習の時間を確保していくための取り組みの工夫も必要と言える。また、児童の自発性が大事なことである。 	3.4	3.4				
		保護者	57.7	37.1	4.7	0.5																
		職員	50.0	43.8	6.3	0.0																
	4 読書習慣の定着に向けた手立ての工夫	児童	39.3	37.6	14.0	9.1													3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室の掲示物など、児童の視覚に訴える工夫がなされてとても良い。 ・宿題や習い事と同等に取り組むための工夫が必要である。この事が学力向上につながるのではないかと考える。 ・今の時代で考えると読書習慣を害する要素が多く、その割には、よく取り組んでいるといえる。 ・児童の読みたい本、興味のある本をできるだけ揃えていくようにして欲しい。また、家庭での習慣付けに今後も取り組んで欲しい。 ・読み聞かせや昼休みに読書する時間があるというのは、大変良いことだと思う。 	3.4	3.4
		保護者	47.7	41.1	10.6	0.7																
		職員	23.5	47.1	29.4	0.0																
豊かな心	1 元気な挨拶や会釈の定着のための手立ての工夫	児童	59.9	31.7	5.5	2.9	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・顔を知っている人への挨拶は良く出来ている。地域の大人も子供たちに顔を覚えてもらう工夫をしていく事が大切だと感じている。 ・地域の方や生活指導部の取り組みもあり、とても良い印象を持っている。 ・挨拶には、個人差があるように思う。今後も継続した取り組みが必要である。 ・とても元気な挨拶が出来ていると思う。 	3.7	3.6												
		保護者	52.8	41.4	5.3	0.5																
		職員	29.4	70.6	0.0	0.0																
	2 無言清掃の定着と環境美化	児童	64.1	29.6	3.5	2.8					3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・よく取り組んでいると思う。今後も財光寺地区の伝統にして欲しい。 ・子どもたちの主体的な取り組みが大切である。今後も率先垂範し、子どもたちを導いて欲しい。 ・全体的には評価できる。引き続き、環境美化に取り組むその意識を高めて欲しい。 ・よく取り組んでいると思う。 	3.7	3.6								
		保護者	48.2	45.1	6.2	0.5																
		職員	47.1	47.1	5.9	0.0																
	3 基本的な生活習慣(靴・スリッパ並べ、廊下歩行等)の定着	児童	62.8	28.9	5.5	2.7									3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・学校での取組が、家庭や地域でどれだけ実践できているかが大切である。家庭との連携を図りながら今後も続けて欲しい。 ・A評価100%達成に向けて取り組んで欲しい。 ・児童との意識の差が見られる。取組について、子どもたちに分かるように、具体的な指導をする必要があると思う。 	3.7	3.6				
		保護者	47.3	45.3	6.6	0.7																
		職員	35.3	64.7	0.0	0.0																
	4 温かい人間関係づくりに向けた手立ての工夫	児童	74.0	16.1	7.2	2.7													3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も個人に応じた手立ての工夫が必要である。人間の温かさを表面的ではなくしっかりと伝えることが必要である。 ・表面には表れにくい難しい部分であるが、A評価100%達成に向けて取り組んで欲しい。 ・すべての児童に寄り添うよう今後も努めて欲しい。 ・学級でみんなで遊ぶなどの取組も続けて欲しい。 	3.7	3.6
		保護者	42.3	49.3	7.1	1.3																
		職員	41.2	52.9	5.9	0.0																

健康・安全	1	運動や戸外での運動遊びの奨励	児童	70.0	21.8	5.8	2.4	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・みんな元気なことがとてもよい「すもう大会」もよかった。 ・よく取り組めている。外遊びなど、運動に取り組んでいることはとても良いことである。なかには、教室に残る児童もいると思うが、無理に外に出す必要はないと思う。 ・屋内だけで過ごす児童のことが気になる。 ・クラスで遊ぶ日などの取り組みの工夫を今後も続けて欲しい。 	3.6	3.6			
			保護者	48.2	46.5	4.6	0.7							
			職員	56.3	31.3	6.3	6.3							
	2	早寝・早起き・朝ご飯の定着に向けた手立ての工夫	児童	57.4	30.5	7.7	4.3							
			保護者	49.6	43.2	6.8	0.5							
			職員	17.6	58.8	23.5	0.0							
	3	給食指導や弁当の日の取組による望ましい食習慣の育成	児童	67.7	19.4	8.1	4.8							
			保護者	54.5	42.4	2.9	0.2							
			職員	37.5	50.0	12.5	0.0							
	4	避難訓練、交通安全教室等、安全教育の充実	児童	70.7	23.1	3.9	2.3							
			保護者	59.7	37.4	2.4	0.5							
			職員	52.9	41.2	5.9	0.0							
連携等	1	体験・ふれあい活動の推進によるキャリア教育の充実	児童	73.3	18.9	4.9	2.8	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・「よのなか先生」の授業も参観してみたい。 ・小学校のころから働くことを学んで行く事は、将来、自分のやりたいことを決めていく参考となりとても良い。継続的に取り組んで欲しい。 ・地域の人達とのふれあいを大切にしていることは良いことだと思う。 ・子どもたちは、よのなか先生に親しみを感じているようである。今後も継続して欲しい。 	3.2	3.3			
			保護者	44.7	47.5	7.3	0.5							
			職員	42.9	50.0	7.1	0.0							
	2	学校経営や教育実践についての保護者への発信	児童	/	/	/	/							
			保護者	48.6	46.2	4.7	0.5							
			職員	17.6	76.5	5.9	0.0							
	3	参観日・学校行事の計画的実施と内容の充実	児童	/	/	/	/							
			保護者	47.5	48.8	3.4	0.2							
			職員	35.3	52.9	11.8	0.0							
	4	財中校区小中一貫教育(グランドデザイン)の充実	職員	20.0	50.0	15.0	15.0					2.8	/	/